

Notohara K Uchino K, Wani Y, Fujisawa M Miyabe K, Nakazawa T Kawa S	Lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis with neutrophilic infiltration: comparison with cases without neutrophilic infiltration	101th Annual Meeting of United States and Canadian Academy of Pathology	Vancouver, Canada	2012年3月
平野賢二 多田稔 小池和彦	自己免疫性膵炎の長期予後 の検討	第52回日本消化 器病学会大会	横浜	2010.10.13
高橋憲一、白瀬智之、 嶋一樹、濱川瑤子、金 田祥平、野口進、森山 あかり豊洋次郎、片倉 浩理、雑賀興慶、福岡 順也、山中晃	IgG4 高値、IgG4 陽性形質細 胞の甲順を認めた multicentric Castleman 病 の1例	第78回日本呼吸 器学会・第108 回日本結核病学 会近畿地方会	大阪	2011年12月
水野伸匡、山雄健次、 洪 繁	機能および組織からみた1 型および2型自己免疫性膵 炎の病態：パネルディスカ ッション8「自己免疫性肝胆 膵疾患～病態解明から治療 ～」	第97回日本消化 器病学会総会	東京	2011年5月
水野伸匡、原 和生、 肱岡 範、山雄健次	Type 1 および type 2 AIP 診 断における EUS-FNA および EUS 下 trucut 生検 (TCB) の 役割：パネルディスカッシ ョン2「自己免疫性膵炎の診 断体系の見直し」	第42回日本膵臓 学会大会	弘前	2011年7月
小倉健、原和生、水野 伸匡、澤木明、肱岡範、 山雄健次	腫瘍性病変における EUS-FNA 検体での KRAS 解析 の臨床的有用性：パネルデ ィスカッション1「膵疾患の 遺伝的背景を探る」	第42回日本膵臓 学会大会	弘前	2011年7月
水野伸匡、山雄健次、 洪 繁	機能および組織からみた1 型および2型自己免疫性膵 炎の病態：パネルディスカ ッション8「自己免疫性肝胆 膵疾患～病態解明から治療 ～」	第97回日本消化 器病学会総会	新宿	2011年5月
水野伸匡、原 和生、 肱岡 範、山雄健次	Type 1 および type 2 AIP 診 断における EUS-FNA および EUS 下 trucut 生検 (TCB) の 役割：パネルディスカッシ	第42回日本膵臓 学会大会	弘前	2011年7月

	ョン2「自己免疫性膵炎の診断体系の見直し」			
小倉健、原和生、水野伸匡、澤木明、肱岡範、山雄健次	腫瘍性病変におけるEUS-FNA 検体での KRAS 解析の臨床的有用性：パネルディスカッション1「膵疾患の遺伝的背景を探る」	第42回日本膵臓学会大会	弘前	2011年7月

VII. 研究成果による特許権等の知的財産権の 出願・登録状況

研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況

種 類	受付（識別）番号	出願日
特許	出願番号：特願 2010-194326 発明者：梅原久範、正木康史、友杉直久、石垣靖人 「IgG4 関連疾患診断用マーカー及びその利用」	平成 22 年 8 月 31 日

VIII. 社会活動報告

社会活動報告

活動者名 (所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞 名等	活動年月日
神澤輝実	第 23 回埼玉胆膵懇話会 “自己免疫性膵炎”	大宮	2009. 5
神澤輝実	第 30 回 Radiology Update Fukuoka “IgG4 関連硬化性疾患の疾患概念と病態”	福岡	2009. 6
神澤輝実	第 12 回御茶ノ水消化器セミナー “自己免疫性膵炎の最近の話題”	東京	2009. 8
神澤輝実	第 12 回富山消化器病最前線 “IgG4 関連硬化性疾患”	富山	2009. 10
神澤輝実	第 5 回宮崎消化器内科セミナー “自己免疫性膵炎 最近の話題”	宮崎	2009. 11
神澤輝実	第 33 回昭和消化器病研究会 “自己免疫性膵炎の最前線”	東京	2009. 12
神澤輝実 (都立駒込病院)	第 36 回臨床医のための神奈川肝臓病理研究会 特別講演 “IgG4 関連硬化性胆管炎”	横浜	H22. 3. 6
神澤輝実	平成 22 年度第 1 回大宮医師会医学講座 “膵炎の診断と治療 ー特に自己免疫性膵炎ー”	大宮	H22. 5. 12
神澤輝実	第 4 回胆道癌術後補助化学療法研究会 特別講演 “IgG4 関連硬化性疾患”	千葉	H22. 5. 21
神澤輝実	ラジオ NIKKEI 医学講座 “さまざまな膵炎の鑑別診断とおのおのの治療法”	ラジオ NIKKEI	H22. 7. 8
神澤輝実	呼吸生理フォーラム (肺機能セミナー講演会) 特別講演 “IgG4 関連疾患 (自己免疫性膵炎と膵外 病変)”	東京	H22. 7. 23
神澤輝実	第 38 回千葉消化器疾患研究会 ミニレクチャー “自己免疫性膵炎の最近の話題”	千葉	H22. 10. 22

神澤輝実	テレビ東京 話題の医学 “膵炎の診療ガイドライン（後篇）”	テレビ東京	H23. 2. 20
神澤輝実	自治医科大学大学院医学研究科特別講演 IgG4 関連疾患の臨床的研究	栃木	H22. 2. 24
伊藤鉄英	第 22 回 臨床糖尿病懇話会 自己免疫性膵炎に伴う膵性糖尿病の検討	ヒルトン福岡 シーホーク	H22. 8. 21
神澤輝実	話題の医学 “膵炎の診療ガイドライン（後篇）”	テレビ東京	2011 年 2 月 20 日
神澤輝実	第 22 回城南消化器病シンポジウム “IgG4 関連硬化性疾患”	東京	2011 年 7 月 14 日
神澤輝実	第 11 回東東京消化器疾患研究会。 特別講演 “自己免疫性膵炎 up to date”。	東京	2011 年 7 月 25 日

IX. 研究事業報告

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業

「I g G4 関連全身疾患の病態解明と疾患概念確立のための臨床研究」

平成21年度第1回総会プログラム

研究代表者 岡崎 和一 (関西医科大学内科学第三講座)

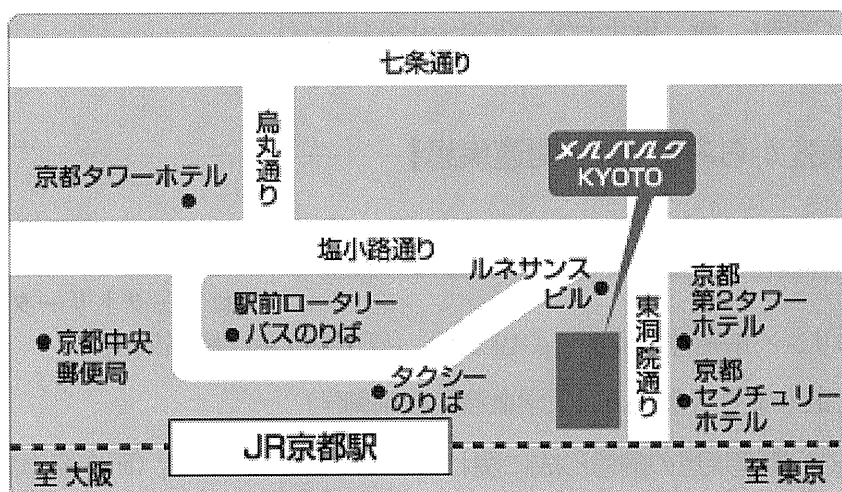
期日 平成20年8月11日(火) 13:00~17:00

場所 メルパルク京都 5階 会議室2

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13 / Tel. 075-352-7444)

<演題発表について>

1. 研究分担・協力者による発表は7分、討論5分をお願い致します。
2. CD-RかUSBメモリのいずれかで発表データをご持参いただき、スライド受付にご提出下さい。
PCはWindowsを用意する予定です。
3. 厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生は、事前に事務局までご連絡ください。
4. 当日、資料を配布される場合は50部程度ご用意下さい。



各線京都烏丸中央口より徒歩2分

事務局 関西医科大学内科学第三講座

担当 内田 一茂

TEL : 072-804-0101

FAX : 072-804-2061

E-mail : igg4@hirakata.kmu.ac.jp

(13 : 00)

開会

(敬称略)

(13 : 00～13 : 15)

I. 研究代表者挨拶・研究の進め方

主任研究者：岡崎和一

(13 : 15～13 : 30)

II. IgG4 関連硬化性疾患の病理学的特徴

能登原憲司 (倉敷中央病院病理検査科)

III. プロジェクト研究

【肝胆膵病変からみた IgG4 関連疾患】

(13 : 30～13 : 54)

プロジェクト1 IgG4関連疾患における病変臓器の形態と機能に関する研究

(プロジェクトリーダー：神澤輝実)

1) IgG4 関連疾患における病変臓器の形態と機能に関する研究 (研究分担者：神澤輝実)

○ 神澤 輝実 (都立駒込病院 内科)

2) 自己免疫性膵炎からみた他臓器病変 (研究協力者：下瀬川 徹)

下瀬川 徹、○菅野 敦 (東北大学大学院消化器病態学)

【唾液腺・涙腺病変からみた IgG4 関連疾患】

(13 : 54～14 : 18)

プロジェクト2 Mikulicz病・IgG4関連疾患の免疫学的解析

(プロジェクトリーダー：梅原久範)

1) IgG4関連多臓器リンパ増殖性症候群(IgG4MOLPS) (研究分担者：梅原久範)

○梅原久範、正木康史 (金沢医科大学血液免疫制御学)

2) Mikulicz 病・IgG4 関連疾患の病態形成に関わるサイトカインの解析 (研究協力者：中村 誠司)

中村誠司¹、○森山雅文¹、田中昭彦¹、前原 隆¹、林田淳之將¹、中島 衡²

(¹九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座、²福岡大学医学部腎臓・膠原病内科)

【その他の臓器（消化管、内分泌）病変からみた IgG4 関連疾患】

(14 : 18~14 : 42)

プロジェクト3 IgG4関連疾患における臓器相関関連因子に関する研究

(プロジェクトリーダー：日比紀文)

1) IgG4 高値の潰瘍性大腸炎症例の検討 (研究分担者：日比紀文)

日比紀文、○松岡克善、高山哲朗、金井隆典 (慶應義塾大学医学部消化器内科)

2) 自己免疫性視床下部下垂体炎と関連疾患：IgG4 関連下垂体炎 (研究協力者：島津 章)

○島津 章(国立病院機構 京都医療センター 臨床研究センター)

コーヒーブレイク(18分)

【病因病態解明のための遺伝子、免疫学的解析】

(15 : 00~15 : 12)

プロジェクト4 接着制御分子破綻による自己免疫発症の機構

(プロジェクトリーダー：木梨達雄)

接着制御分子破綻による自己免疫発症の機構 (研究分担者：木梨達雄)

○木梨達雄、植田祥啓 (関西医科大学分子遺伝学講座)

(15 : 12~15 : 24)

プロジェクト5 IgG4関連疾患の疾患感受性遺伝子の解析

(プロジェクトリーダー：川 茂幸)

IgG4 関連疾患の疾患感受性遺伝子の解析 (研究分担者：川 茂幸)

○川 茂幸¹、大田正穂²、伊藤哲也³

(¹信州大学健康安全センター、²法医学教室、³消化器内科学教室)

(15 : 24~15 : 36)

プロジェクト6 ゲノム解析の手法を用いた疾患関連遺伝子の探索

(プロジェクトリーダー：松田文彦)

ゲノム解析の手法を用いた疾患関連遺伝子 (研究分担者：松田文彦)

○松田文彦 (京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター)

(15 : 36~15 : 48)

プロジェクト7 プロテオミクス解析による新規診断マーカーの開発

(プロジェクトリーダー：坪内博仁)

IgG4 関連全身疾患患者血清 IgG4 の対応抗原探索 (研究分担者：坪内博仁)

坪内博仁、○嵩山敏男、高見陽一郎、宇都浩文、上村修司、岩下祐司、船川慶太、井戸章雄、
(鹿児島大学医歯学総合研究科健康科学専攻 消化器疾患生活習慣病学)

(15 : 48~16 : 00)

プロジェクト8 IgG4における自然免疫系と獲得免疫系の関係に関する研究

(プロジェクトリーダー：千葉 勉)

自然免疫のシグナルからみた IgG4 産生機構の解析 (研究分担者：千葉 勉)

千葉 勉、○渡邊智裕 (京都大学消化器内科学講座)

(16 : 00~16 : 24)

プロジェクト9 IgG4関連疾患における標的抗原と免疫制御に関する研究

(プロジェクトリーダー：岡崎和一)

1) IgG4 関連硬化性疾患における CD163 陽性紡錘形細胞の出現

(研究協力者：能登原憲司)

○能登原憲司 (倉敷中央病院病理検査科)

2) 自己免疫性膵炎における制御性 T 細胞の役割 (研究分担者：岡崎和一)

岡崎和一、○内田一茂、小藪雅紀、楠田武生、吉田勝紀、坂口雄沢、福井寿朗、西尾彰功

(関西医科大学内科学第三講座)

事務局連絡

閉会の挨拶

(16 : 30 終了予定)

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
「IgG4 関連全身疾患の病態解明と疾患概念確立のための臨床研究」
平成 21 年度第 2 回総会プログラム

研究代表者 岡崎 和一 (関西医科大学内科学第三講座)

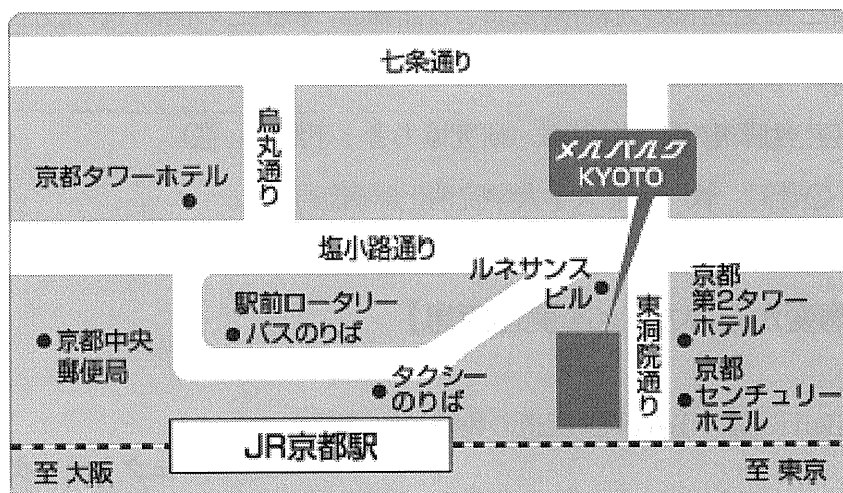
期日 平成 22 年 2 月 2 日 (火) 13:00~18:00

場所 メルパルク京都 5 階 会議室 2

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13 / TEL 075-352-7444)

<演題発表について>

1. 研究分担・協力者による発表は 7 分、討論 5 分をお願い致します。
2. 発表スライドは Windows PowerPoint2003 で保存していただき、CD-R か USB メモリのいずれかでご持参下さい。Macintosh の方は、Windows にて一度試写してご確認いただいたのをご持参ください。
3. 厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生は、事前に事務局までご連絡ください。
4. 当日、資料を配布される場合は 50 部程度ご用意下さい。



各線京都烏丸中央口より徒歩 2 分

事務局 関西医科大学内科学第三講座

担当 内田 一茂

TEL : 072-804-0101

FAX : 072-804-2061

E-mail : igg4@hirakata.kmu.ac.jp

(13 : 00)

開会

(敬称略)

(13 : 00~13 : 15)

I. 研究代表者挨拶・研究の進め方 研究代表者：岡崎和一

II. プロジェクト研究

【IgG4 関連全身疾患の実態把握】（プロジェクトリーダー：岡崎和一）

(13 : 15~13 : 30)

1) 「IgG4 関連全身疾患」に関する患者数把握のための一次全国調査報告

岡崎和一、○ 内田一茂（研究班事務局）

2) 「IgG4 関連疾患・自己免疫性膵炎に関する臨床前向き研究」

岡崎和一、○内田一茂（研究班事務局）

【肝胆膵病変からみた IgG4 関連疾患】

(13 : 30~13 : 54)

プロジェクト1 IgG4関連疾患における病変臓器の形態と機能に関する研究

(プロジェクトリーダー：神澤輝実)

1) 血中 IgG4 値と自己免疫性膵炎の膵外病変および諸臓器の機能との関係 (研究分担者 :神澤輝実)

○ 神澤 輝実 (都立駒込病院 内科)

2) IgG4 陰性自己免疫性膵炎の臨床的特徴 (研究協力者：下瀬川 徹)

下瀬川 徹、○菅野 敦 (東北大学大学院消化器病態学)

【唾液腺・涙腺病変からみた IgG4 関連疾患】

(13 : 54~14 : 18)

プロジェクト2 Mikulicz病・IgG4関連疾患の免疫学的解析

(プロジェクトリーダー：梅原久範)

1) IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS) 研究班からの報告(研究分担者：梅原久範)

○梅原久範 (金沢医科大学血液免疫制御学)

2) ミクリッツ病/IgG4 関連全身疾患の唾液腺病変におけるサイトカインの関与 (研究協力者：中村 誠司)

中村誠司、○森山雅文

(九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座)

【その他の臓器（消化管、内分泌）病変からみた IgG4 関連疾患】

(14 : 18~14 : 42)

プロジェクト3 IgG4関連疾患における臓器相関関連因子に関する研究

(プロジェクトリーダー：日比紀文)

1) 潰瘍性大腸炎における血清 IgG4 および腸管局所 IgG4 陽性細胞の検討 (研究分担者：日比紀文)

日比紀文、○松岡克善、高山哲朗、金井隆典 (慶應義塾大学医学部消化器内科)

2) IgG4 関連漏斗下垂体病変の臨床像 (研究協力者：島津 章)

○島津 章¹、沖 隆²、藤澤一朗³、佐野寿昭⁴ (1国立病院機構 京都医療センター 臨床研究センター、²浜松医科大学第二内科、³市立岸和田市民病院放射線科、⁴徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

コーヒーブレイク (18分)

【病因病態解明のための遺伝子、免疫学的解析】

(15 : 00~15 : 12)

プロジェクト4 接着制御分子破綻による自己免疫発症の機構

(プロジェクトリーダー：木梨達雄)

接着制御分子欠損による自己免疫発症の機序 (研究分担者：木梨達雄)

木梨達雄、○植田祥啓 (関西医科大学分子遺伝学講座)

(15 : 12~15 : 24)

プロジェクト5 IgG4関連疾患の疾患感受性遺伝子の解析

(プロジェクトリーダー：川 茂幸)

マイクロサテライトを用いた自己免疫性膵炎疾患感受性遺伝子の解析 (研究分担者：川 茂幸)

○川 茂幸¹、大田正穂²、伊藤哲也³

(¹信州大学健康安全センター、²法医学教室、³消化器内科学教室)

(15 : 24~15 : 36)

プロジェクト6 ゲノム解析の手法を用いた疾患関連遺伝子の探索

(プロジェクトリーダー：松田文彦)

「IgG4 関連疾患・自己免疫性膵炎における疾患関連遺伝子の解析」に関わる現在の進捗状況

岡崎和一、○内田一茂 (研究班事務局)

(15 : 36~15 : 48)

プロジェクト7 プロテオミクス解析による新規診断マーカーの開発

(プロジェクトリーダー：坪内博仁)

IgG4 関連全身疾患患者血清 IgG4 の対応抗原探索 (研究分担者：坪内博仁)

坪内博仁、○寄山敏男、高見陽一郎、宇都浩文、上村修司、岩下祐司、船川慶太、井戸章雄、
(鹿児島大学医歯学総合研究科健康科学専攻 消化器疾患生活習慣病学)

(15 : 48~16 : 00)

プロジェクト8 IgG4における自然免疫系と獲得免疫系の関係に関する研究

(プロジェクトリーダー：千葉 勉)

TLR/NLR の活性化による IgG4 産生機構の解析 (研究分担者：千葉 勉)

千葉 勉、○渡邊智裕 (京都大学消化器内科学講座)

(16 : 00~16 : 24)

プロジェクト9 IgG4関連疾患における標的抗原と免疫制御に関する研究

(プロジェクトリーダー：岡崎和一)

1) IgG4 関連硬化性唾液腺炎における CD163 陽性マクロファージの増生：lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis との比較 (研究協力者：能登原憲司)

○能登原憲司 (倉敷中央病院病理検査科)

2) 自己免疫性膵炎における IgG4 と制御性 T 細胞の関係 (研究分担者：岡崎和一)

岡崎和一、○内田一茂、小藪雅紀、楠田武生、吉田勝紀、坂口雄沢、福井寿朗、西尾彰功
(関西医科大学内科学第三講座)

総合討論

線維硬化性疾患としての「IgG4関連全身疾患の概念と診断基準試案」の作成

事務局連絡

閉会の挨拶

(18 : 00 終了予定)

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業補助金

IgG4 関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究

平成 22 年度第 1 回総会プログラム

研究代表者 岡崎 和一 (関西医科大学内科学第三講座)

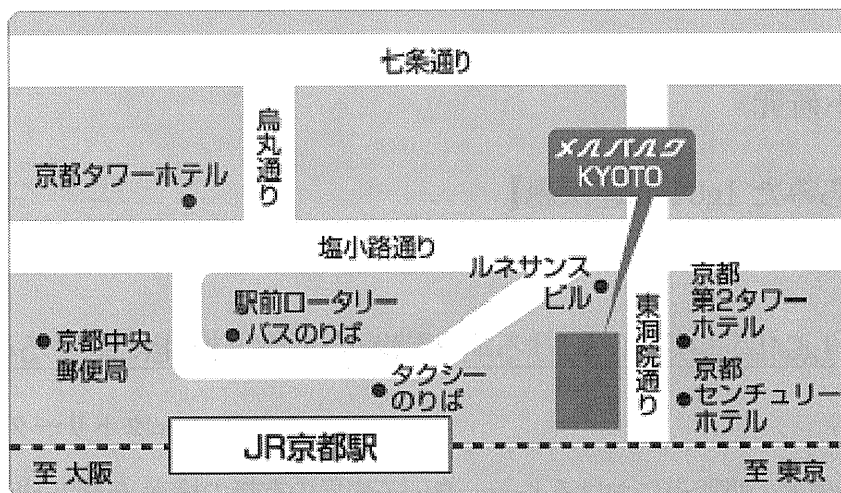
期日 平成 22 年 8 月 3 日 (火) 13:00~17:00

場所 メルパルク京都 5 階 会議室 2

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13 / TEL 075-352-7444)

<演題発表について>

1. 発表は 5 分、討論 3 分 (計 8 分) をお願い致します。
2. CD-R か USB メモリのいずれかで発表データをご持参いただき、スライド受付にご提出下さい。
PC は Windows を用意します。Macintosh の対応はいたしません。
3. 厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生は、事前に事務局までご連絡ください。
4. 当日、資料を配布される場合は 50 部程度ご用意下さい。



各線京都烏丸中央口より徒歩 2 分

事務局 関西医科大学 内科学第三講座

担当 内田 一茂

TEL : 072-804-2757

FAX : 072-804-2061

E-mail : igg4@hirakata.kmu.ac.jp

(13 : 00)

開会

(敬称略)

(13 : 00～13 : 15)

I. 研究代表者挨拶・研究の進め方

主任研究者：岡崎和一

(13 : 15～13 : 25)

II. 共同プロジェクト

1) IgG4 関連疾患疾患についての前向き臨床研究

岡崎和一、○内田一茂 (研究班事務局)

2) IgG4 関連疾患疾患についての全国調査

岡崎和一、○内田一茂 (研究班事務局)

III. プロジェクト研究

【肝胆膵病変からみた IgG4 関連疾患】

(13 : 25～14 : 29)

プロジェクト1 IgG4関連疾患における病変臓器の形態と機能に関する研究

(プロジェクトリーダー：神澤輝実)

1) 自己免疫性膵炎患者の膵胆道における K-ras 遺伝子変異の有無の検索 (研究分担者：神澤輝実)

○ 神澤 輝実、宅間健介、田畑拓久、稲葉良彦、江川直人 (都立駒込病院 内科)

2) EUS-FNA による自己免疫性膵炎の診断能の検討 (研究分担者：下瀬川 徹)

下瀬川 徹、○菅野 敦 (東北大学大学院消化器病態学)

3) 自己免疫性膵炎の長期予後、とくにステロイド治療前後における合併糖尿病、耐糖能の推移に関する検討 (研究協力者：平野賢二)

○平野賢二 (東京大学大学院医学系研究科消化器内科学)

- 4) IgG4関連全身硬化性疾患におけるステロイド治療抵抗例の検討 (研究協力者：乾 和郎)
○乾 和郎、芳野純治、三好広尚、山本智支、松浦弘尚、鳥井淑敬
(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科)
- 5) ステロイド治療による自己免疫性膵炎の膵機能回復機構 (研究協力者：洪 繁)
○洪 繁 (名古屋大学医学部附属病院消化器内科)
- 6) IgG4関連全身硬化性疾患における膵・膵外病変数と血中IgG4値との関連について
(研究協力者：伊藤鉄英)
○伊藤鉄英、五十嵐久人 (九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科)
- 7) IgG4 関連硬化性疾患の臨床像の検討 (研究協力者：西野隆義)
○西野隆義 (東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科)
- 8) IgG4関連全身硬化性疾患の病態と推移-自験例とモデルマウスからの検討(研究協力者:吉田 仁)
○吉田 仁、佐藤悦基、田中滋城、岩田朋之、野本朋宏、山崎貴久、湯川明浩、本間 直、
北村勝哉、今村綱男、池上覚俊、井廻道夫
(昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門、東京有明医療大学保険医療学部)

【その他の臓器 (消化管、内分泌、呼吸器) 病変からみた IgG4 関連疾患】

(14 : 29~14 : 53)

プロジェクト3 IgG4関連疾患における臓器相関関連因子に関する研究

(プロジェクトリーダー：日比紀文)

- 1) 潰瘍性大腸炎の免疫学的検討 (研究分担者：日比紀文)
日比紀文、○松岡克善、佐伯恵太、高山哲朗、米野、和明、金井隆典
(慶應義塾大学医学部消化器内科)
- 2) IgG4 関連疾患における内分泌障害について (研究協力者：島津 章)
○島津 章 (国立病院機構 京都医療センター 臨床研究センター)

3) IgG4関連間質性肺炎についての検討

三嶋理晃、半田知宏、○谷澤公伸、渡辺創、相原顕作、長井苑子、陳和夫、三森経世、久保武、田口善夫、野間 惠之、小橋 陽一郎

(京都大学医学部附属病院呼吸器内科、リハビリテーション部、京都健康管理研究会中央診療所、京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学、同 医学部附属病院 免疫・膠原病内科、放射線部、天理よろづ相談所病院)

コーヒーブレイク (14 : 53~15 : 15)

【唾液腺・涙腺病変からみた IgG4 関連疾患】

(15 : 15~15 : 31)

プロジェクト2 Mikulicz病・IgG4関連疾患の免疫学的解析

(プロジェクトリーダー：梅原久範)

1) ミクリッツ病/IgG4 関連疾患の病態形成とサイトカイン・ケモカインとの関連

(研究協力者：中村 誠司)

中村誠司、○森山雅文 (九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座)

2) 「IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS) の確立のための研究班」からの報告

(研究分担者：梅原久範)

○梅原久範 (金沢医科大学血液免疫制御学)

【病因病態解明のための遺伝子、免疫学的解析】

(15 : 31~15 : 39)

プロジェクト4 接着制御分子破綻による自己免疫発症の機構

(プロジェクトリーダー：木梨達雄)

接着制御分子破綻による自己免疫発症の機構

(研究分担者：木梨達雄)

木梨達雄、○植田祥啓、富山尚、安田鐘樹 (関西医科大学分子遺伝学講座)